

総合図書館 清教リブラリア

2017 年度 事業報告

- ・リブラリア訪問者数 1100 名を突破
- ・清教学園幼稚園生による「リブラリア探検」開始
- ・『「なんでも学べる学校図書館」をつくる2』発刊
- ・ラーニングコモンズ本格稼働 利用者約 3000 名
- ・有志探究活動「清教アカデミカ」はじまる
- ・統計グラフコンクールに初入賞

清教学園中・高等学校 図書館教育

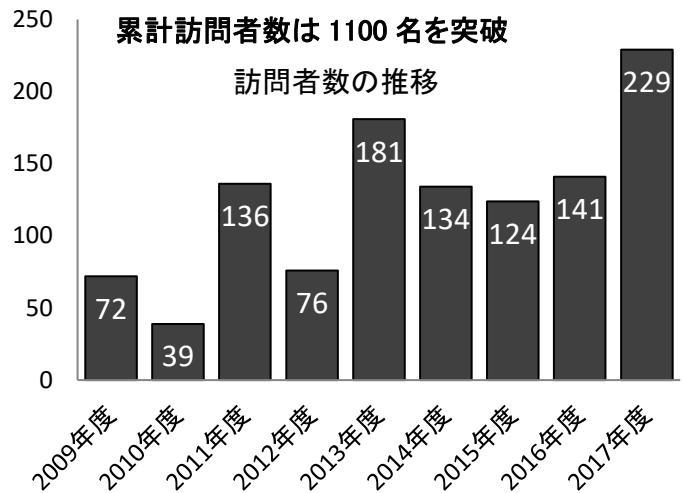
2018 年 5 月 7 日

I トピックス

リブラリア訪問者数 1100 名を突破

2009 年度より統計を取り始めてからのリブラリア訪問者数が 1100 名を突破し累計 1130 名となりました。ことに本年度は 229 名とこれまでの新記録となりました。

訪問者の属性や訪問目的を見ると、探究的な学習への関心から各地の学校・予備校（ベネッセ・河合塾）等の関係者が多いことが分かります。詳細は「V 2017 年度の記録」の訪問者数の項目を参照下さい。



清教学園幼稚園生による「リブラリア探検」開始

清教学園幼稚園の保護者にゆるやかに清教学園中学校への進学を意識してもらう機会になればと、清教学園幼稚園との協働イベントとして「リブラリア探検」を企画しました。2017 年度は学期に 1 回、7 月 15 日（土）、10 月 14 日（土）、3 月 3 日（土）の計 3 回実施しました。英語プログラム、パイプオルガン見学、図書館のおはなし会等、盛りだくさんの内容でした。参加者はのべ 73 名、貸出冊数は 253 冊、協力してくれた本校生徒は 17 名でした。

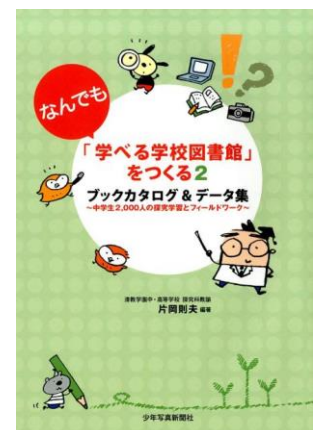
幼稚園の参加者にも大変好評で、次年度も継続予定です。また、本校生徒にとっても有意義な時間となったようです。3 回の機会を経て、「自分が読みたい本・やりたいことより、子どもたちに合ったものをやりたい」と成長を感じさせる生徒も現れました。



『「なんでも学べる学校図書館」をつくる 2』の出版

『「なんでも学べる学校図書館」をつくる 2: ブックカタログ&データ集』が、少年写真新聞社より 10 月末に出版されました。リブラリア職員 4 名の共著による本書は、中学 3 年生約 2000 人の卒業研究のテーマと作品の分析を基礎的なデータとしたブックガイドです。

テーマ人気ランキング 51~100 位のブックガイドとともに、中学卒業研究のフィールドワークについて紹介をしています。ちなみに、第一巻は増刷が決まりました。



ラーニングコモンズ本格稼働開始・利用者約 3000 名

ラーニングコモンズが 8 月に本格稼働を開始しました。リブラリアのスタッフが常駐し約 7 か月が経過しました。この間、ラーニングコモンズの総利用者数は 2993 名。1 日当たりの平均利用者数は 22.6 名でした。利用者を所属別にみると、中学生が 59%、高校生が 35%。また、学習エリア別にみると、協働エリアが 78%、個別エリアが 16%でした。一方、コンピュータの利用をみると、全利用者のうち、コンピュータ利用が 1145 回あったことから、全体の 38%の生徒がコンピュータを利用していました。以上のデータから、開室から半年あまり、放課後の学習環境の一つとしてラーニングコモンズが認識されつつあるといえます。



有志探究活動「清教アカデミカ」発足

中学卒業研究を経験した、複数の中学 66 期卒業生から「高校でも自由なテーマ設定による探究活動がしたい」と希望がありました。これを受けて有志参加者による、学びの場「清教アカデミカ」が図書館教育によって開始されました。3 月現在の参加メンバーは、高校 50 期を中心とした全 13 名。各自がテーマを設定し活動を進めています。アカデミカでは月に一度の定例会を設定、学びの手法のレクチャーや、お互いの研究を発表・議論する機会としています。また、研究のための資料提供、フィールドワークのサポート、アカデミックライティングの指導などを通じ生徒の探究活動を支援しています。



統計グラフコンクールに初入賞

中 2 総合的学習の課題「統計で世界を考える」から応募した作品が、第 59 回大阪府統計グラフコンクール（主催：大阪府総務部統計課）で初の受賞をしました。中 2A の井上ひなたさんが「ご存じですか？ 最近の台風」で大阪府知事賞を受賞（第 65 回統計グラフ全国コンクールに出品）。2C の酒井彩七さんが「命の重さを考えて！ ペットブームの裏側で失われる命」で大阪府知事賞佳作に入選をしています。

府統計グラフコンクール表彰



II 施設概要

名称:総合図書館 清教リブラリア

所在地: 〒586-8585 大阪府河内長野市末広町 623

Tel : 0721-62-6828 (内線 28, 29) HP : <http://www.seikyo.ed.jp/>

ツイッター : <https://twitter.com/seikyolibraria>

理事長・チャプレン:井上良作 中学高校・校長:森野章二

中学高校・副校長:菊岡秀行 中学・教頭:角谷豪 高校・教頭:安藤浩明

図書館教育:片岡則夫(館長・探究科教諭) 山根美智子(司書)

南百合絵(司書教諭) 山崎勇氣(司書) 岡崎真実(非常勤司書)

※山崎は総合学習・情報科のサポートとして授業も担当

生徒数: 中学校 504名 (1年162名 2年170名 3年172名)

高等学校 1265名 (1年414名 2年442名 3年409名)

総生徒数 1769名 (昨年度1815名)

職員数 159名

合計 1928名 (昨年度1962名)

学級数: 中学校 12学級 高等学校 32学級 合計 44学級

設置: 2002年4月(「総合図書館清教リブラリア」として現在の位置で開館)

図書館:

床面積:約256㎡ カウンター 司書室を含む

座席数:20席 書庫(スタディーホール・ホール上)

業務端末:6台 生徒検索端末:2台 無線LAN iPad:3台

蔵書管理システム: LibMax(ソフテック)

図書館発注システム: TOOLi-S(TRC)

総合学習室:

床面積:約98.2㎡

座席数:44席 生徒用PC:50台 教師用PC:1台 無線LAN

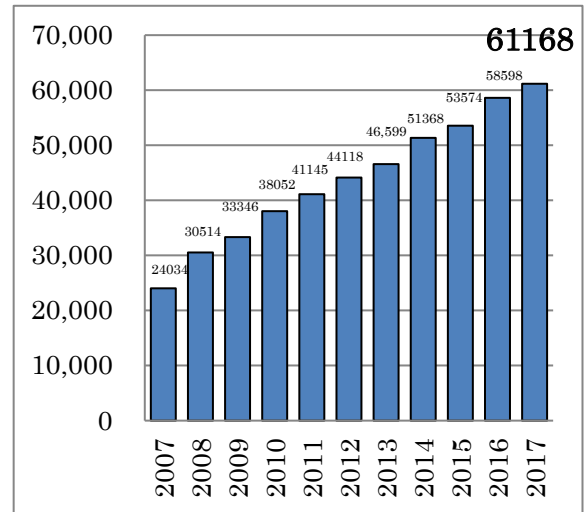
ラーニングcommons:

座席数:94席 生徒用情報端末:Chromebook 200台 iMac 7台

Ⅲ 資料統計

資料数は6万点を突破

本年度リブラリアの資料数は61168点となりました。2016年度末より2570点の増加です。一方で、書架の容量が限界に近づいたため、書架の配置換えで収納量を増加させました。統計を取り始めた10年前と比較して、フロア面積を変えずに蔵書数は2.5倍になりました。また、大規模な除籍（1588冊）を本年度も行いました。



リブラリアの総蔵書数の推移

1. 購入図書冊数

分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
冊数	132	86	445	538	437	401	260	452	68	940	107	3866
%	3.4	2.2	11.5	13.9	11.3	10.4	6.7	11.7	1.8	24.3	2.8	100

2. 購入視聴覚数 0点

3. 寄贈図書

分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
一般寄贈	35	5	41	29	10	5	4	4	39	150	30	352

※ まんが・絵本他には視聴覚資料12点を含む

※ PTA学級図書費購入分も含む

4. 遡及作業

2017年度登録なし

5. 生徒作品受入分

2017年度登録なし（昨年度までの累計1526冊）

6. 総受入冊数

分類	総記	哲学	地理歴史	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
冊数	167	91	486	568	447	408	264	456	107	1093	138	4225

7. 紛失図書

年度	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
紛失冊数	523※	137	79	148	207	144	164	112	194	145
紛失率 (%)		0.41	0.21	0.36	0.47	0.3	0.3	0.21	0.3	0.24

年間紛失率=年間紛失冊数÷蔵書冊数×100 被害総額 127,651円

※2008年度はこれまでの紛失図書の累計値

8. 配置別の蔵書数と割合

	1F 書架(すくど文庫含む)	開架上	書庫	すくどの本(教室出張中)	館外(教科・分掌等)	その他(視聴覚等)	全蔵書
冊数	49051	3100	7947	268	294	508	61168
%	80%	5%	13%	0%	0%	1%	100%

※2017年度より、書庫の名称変更。2F・3F 書庫を「書庫」に統一。開架上スペースも「開架上」とし、全集類を配架。

9. 廃棄数冊数 1588冊(昨年度 1539冊)

10. 総蔵書数・蔵書構成

分類	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
生徒作品	44	32	80	206	258	259	267	293	27	86	0	1552
寄贈	203	326	552	616	574	183	117	339	378	3261	556	7105
蔵書合計	1489	3160	4992	7437	7604	4784	3880	6817	1721	17509	1775	61168
%	2%	5%	8%	12%	12%	8%	6%	11%	3%	29%	3%	100%

※ まんが・絵本他には視聴覚資料 318 点等を含む

雑誌 (購入 21 誌・寄贈 4 誌)

Number	学校図書館	News がわかる	MOE
Newton	季刊かつくら	週刊東洋経済	鉄道ジャーナル
関西ウォーカー	スクリーン	DAYS JAPAN	ナショナル・ジオグラフィック 日本版
ダ・ヴィンチ	オレンジページ (隔週)	進学通信	進学通信 (関西版)
季刊デザインノート	日経エンタテイメント	本の雑誌	THE BIG ISSUE JAPAN
月刊ピアノ	ねこのきもち (寄贈)	Science window (寄贈)	どうぶつのに (寄贈)
mundi (寄贈)			

新聞 (購入 2 誌)

朝日新聞
毎日新聞

データベース

スクールヨミダス

教室設置図書(すくどの本)の蔵書数・紛失数

分類	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
蔵書数	3	6	4	10	31	4	6	14	0	189	1	268
紛失冊数	1	2	0	3	8	1	0	4	0	50	0	69
分野別紛失率	33.3	33.3	0	30	25.8	25	0	28.6	0	26.5	0	25.7
全体に対する紛失率	1.45	2.90	0	4.35	11.6	1.45	0	5.80	0	72.5	0	100

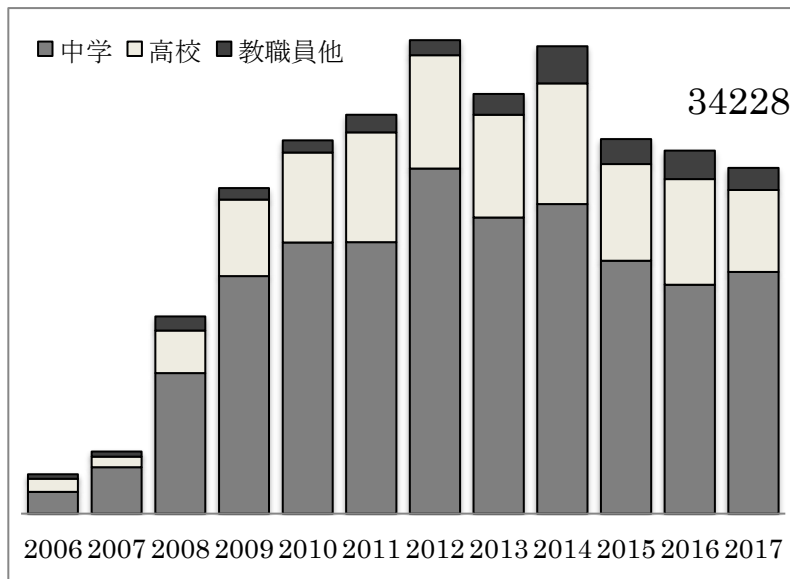
※作年度、中学3年生分の冊数を増やし、今年度も継続。

※英語の本 32 冊も主題の分類を含む ※紛失冊数に英語の本 6 冊含む

IV 利用統計

総貸出点数は減少

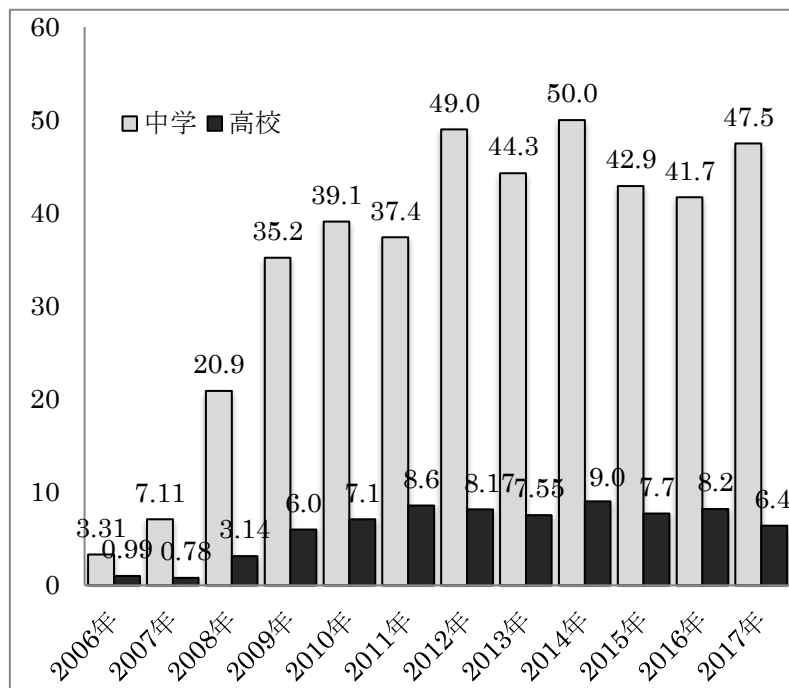
2017年度の総貸出数は34228冊で、昨年に比べて約1700冊減少しました。中学が増加し、高校が減少しています。総貸出点数の減少は、全校の生徒減（昨年度より46名減）と高校探究科の廃止が原因と考えられます。



総貸出点数減の原因は生徒減と探究科廃止が原因か

ひとりあたりの貸出点数は中学増・高校減

ひとりあたりの年間貸出点数は全生徒で18.1冊（約0.2冊減）でした。中学が47.5冊（約5.8冊増）と大幅増、高校が6.4冊（約1.8冊減）と減少しました。



ひとりあたりの貸出点数は中学で増、高校で減

開館時間 月曜日～金曜日 8:10～18:00 土曜日 8:10～16:30 ※長期休暇中は別に定める

開館日数 272日（前年度285日）

授業利用時間 総合学習：12時間/週（総合学習）

ラーニングコモンズ：中高I PBL・高1情報の科学(探究編)等

スタディホール：キリスト教概論・保健体育等

貸出方法・期間

貸出冊数：20冊まで／貸出期間：14日以内 ※長期休暇中は別に定める

年間総貸出冊数 34228冊（前年度35950冊）

利用者1人あたりの貸出冊数【貸出密度】（ ）は前年度

全生徒 18.1冊/年 (18.3冊/年)
 中学生 47.5冊/年 (41.7冊/年)
 高校生 6.4冊/年 (8.2冊/年)
 職員 10.2冊/年 (12.8冊/年)

開館日1日あたりの貸出冊数:125.8冊(前年度126.1冊)

蔵書1冊あたりの平均貸出冊数〔蔵書回転率〕:0.56冊(前年度0.61冊)

(蔵書回転率=年間貸出冊数÷全蔵書冊数)

新しい本が図書館にどの程度入ったか〔蔵書新鮮度〕:6.9%(昨年度9.2%)

(蔵書新鮮度=その年の蔵書受け入れ冊数÷全蔵書冊数×100)

※この数字が高ければ高いほど頻りに蔵書を回転させており、書架に新しい本が多い。

リクエスト件数 データなし

複写申請数 34件(昨年度37件) スキャン数の増加のため減少継続

他館借受本 821冊(昨年度約816冊) 河内長野図書館他

年間貸出統計 2017年度

	中1	中2	中3	中学生 合計	高1	高2	高3	高校生 合計	職員	清教 幼稚園	教科 他	総貸 出数	開館 日数	1日平均	予約 件数
4月	909	313	683	1905	567	196	146	909	169		90	3073	21	146.33	131
5月	1400	397	1041	2838	333	271	188	792	190		76	3896	22	177.09	111
6月	1254	394	1154	2802	354	295	235	884	131		103	3920	26	150.77	134
7月	2732	468	1054	4254	301	293	216	810	207	31	5	5307	24	221.13	64
8月	329	132	138	599	145	78	94	317	151		20	1087	24	45.292	13
9月	818	453	806	2077	237	243	208	688	109			2874	24	119.75	71
10月	501	616	421	1538	191	150	226	567	138	33		2276	22	103.45	54
11月	568	1180	780	2528	264	261	184	709	94			3331	24	138.79	73
12月	415	629	381	1425	333	279	91	703	175			2303	23	100.13	36
1月	583	837	218	1638	378	133	39	550	101		5	2294	20	114.7	100
2月	196	549	172	917	197	184	89	470	74			1461	18	81.167	35
3月	674	567	165	1406	413	254	60	727	84	189		2406	24	100.25	63
集計	10379	6535	7013	23927	3713	2637	1776	8126	1623	253	299	34228	272	125.84	885

分類別貸出冊数と回転率

分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	その他	合計
貸出冊 数	525	844	1688	2326	3359	3002	2077	3675	900	13824	2008	34228
蔵書数	1489	3160	4992	7437	7604	4784	3880	6817	1721	17509	1775	61168
回転率	0.35	0.27	0.34	0.31	0.44	0.63	0.54	0.54	0.52	0.79	1.13	0.56

※ 「蔵書回転率」は蔵書1冊あたりの平均貸出冊数 (蔵書回転率=年間貸出冊数÷全蔵書冊数)

※ その他は他館からの借受本など。

すくど文庫の分類別貸出統計

分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	その他	合計
蔵書冊数	50	75	56	159	256	82	107	226	23	1507	1	2542
貸出冊数	41	82	23	45	127	39	38	90	11	1375	0	1871
回転率	0.82	0.10	0.41	0.28	0.50	0.48	0.36	0.40	0.48	0.91	0	0.74

長期休暇中の利用

開館日数:34日

総入館者数:1124名

利用: 貸出697点 返却710点

1日当たりの入館者:33人

1日当たりの貸出数:20点 1日当たりの返却数21点

	開館日数	入館者					利用	
		中学生	高校生	教職員	見学	合計	貸出	返却
春期2017	1	6	14	10	0	30	5	13
夏期	19	398	322	50	104	904	474	321
冬期	6	80	24	30	7	130	111	110
春期2018	8	42	41	19	8	110	107	266
合計	36	526	401	109	119	1124	697	710

図書館登校生徒

年間利用日数:183日 利用生徒:24名

年間利用のべ人数:85人

総利用時間数:1228時間(校時)

生徒数	中学			高校			留学生
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	
	2	5	6	6	2	1	2
13			11				
24							

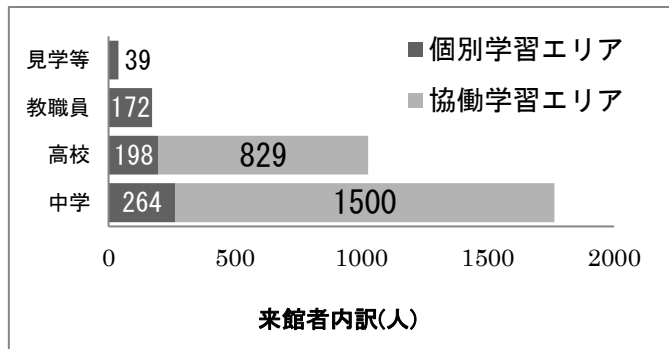
図書館登校の生徒は年間183日利用をしていました。年間の開館日数が272日なので、長期休みを除いてほぼ毎日1名が図書館登校で利用をしていました。総利用時間数は1228時間。中高生ともに「教室に入りにくい」等の理由がほとんどでした。他には留学生・留学帰りの生徒等が利用しました。各々、図書館では読書・課題学習・PC利用等で過ごしました。なお、もっとも利用した生徒は中学2年生の男子で363時間でした。

ラーニングコモンズ利用統計（放課後）

開館日数：117日（8月本格稼働）

総利用者数：2993名（22.6人/日）

個別学習エリア：462名 協働学習エリア：
2329名



月別利用者統計

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
99	477	266	626	489	249	419	368	2993

来館者利用エリア内訳

協働(中学)	協働(高校)	個別(中学)	個別(高校)	教職員	見学者等
1500	829	264	198	172	39
50%	28%	9%	7%	6%	1%

生徒対応統計（回）

chromebook 貸出	Macbook 貸出	私物情報端末 利用	パスワード 再発行申請	レファレンス (資料調査)	コンピュータ 相談	教科 相談
801	215	129	15	19	192	28

リブラリア Twitter 統計

ツイッターによる情報発信は3年目になりました。本年度のツイート数は全126回、1日あたり0.3回と、減少傾向にあります。一方で、総フォロワー数は407件と増加しています。発信するだけフォロワー数は増えるのが確実であり、より頻繁で多様な発信が必要です。

「アナリティクス」というサービスで、月別ツイート数と話題になったツイートを分析してみました。1月12日に「ほぼ日アースボール」をカウンターに置いたツイートが注目されています。理由は糸井重里氏がリツイートしたためで、このツイートには88,334件のインプレッション（ユーザーがリブラリアの投稿をみた回数）がありました。この他にも中1総合「本のお中元」の実践や、高1有志生徒読み聞かせなどが注目されました。

	ツイート数累計	ツイート数/年	ツイート数/日	総フォロワー数	フォロワー数増減
2015年度		153	0.6	192	
2016年度	289	136	0.4	318	+126
2017年度	425	126	0.3	407	+89

月別ツイート数と話題になったツイート

* インプレッション=ユーザーがリブラリアの投稿をみた回数



V 2017年度の記録

「図書館だより」と特集展示

[2017年]

- 4月 「図書館だより」科学道100選（担当山崎）
理化学研究所とタイアップして冊子配付と特集展示を実施
- 5月 「図書館だより」（担当岡崎）本屋大賞2010年～2017年1位～10位の本を展示
貸出件数が多かったため、12月まで展示を継続
- 6月 「図書館だより」（担当山崎）「何を学ぶのか。なぜ学ぶのか。どのように学ぶのか。」
66期中学3年卒業研究インタビュー記事を展示
- 7月 「図書館だより」（担当山根）私がオモシロイと感じた本
- 9月 「図書館だより」（担当南）夏休みに絵本はいかが。
- 10月 「図書館だより」（担当片岡）コミックエッセイ
貸出件数が多かったため、12月まで展示を継続
- 11月 「図書館だより」（担当岡崎）本の帯を集めてみました
- 12月 クリスマスツリーの設置に併せて、クリスマスに関する資料を展示

[2018年]

- 1月 「図書館だより」（担当山根）チョコレート特集の本を展示
- 1月 雑誌ダヴィンチ「BOOK OF THE YEAR 2017」の本を展示
本屋大賞2018ノミネート作品10冊を展示
- 2月 蔵書点検に伴い除籍本の検討と譲渡

年度を通じた活動（通常業務以外）

- ・登録バーコード位置統一作業（貸出・返却作業、蔵書点検作業の効率化をはかるため）
- ・図書委員会生徒の指導（書架整理、本棚移動など）
- ・寄贈本の受入
- ・書架の移動と分類サインのリニューアル
- ・カウンセリングルームと連携し生徒の居場所提供 カウンセリング協議会への参加
- ・教育相談室からカウンセラーの河合先生が水曜日の昼休み図書館に在中し生徒観察を実施
- ・「新刊図書のご案内」の配布。各クラスに1ヶ月に1度のペースで配布・掲示（カラーで4～5枚）
学園内サーバの新刊案内も更新 更新時に全教職員にSGメールでお知らせ
個人端末を持つ高1生に向け、リブラリアのアカウントから新刊案内ページの一斉メールを配信
- ・階段横壁面を利用して、原作本のある映画や美術館の案内などを随時展示
- ・Twitterを更新し学内・学外向けにアピールを引き続き行う
- ・国立国会図書館「レファレンス協同データベース」に参加継続中
- ・本をつなげるプロジェクト継続中 高1野球部有志は中高全クラスで読み聞かせ
- ・清教学園幼稚園との交流企画（土曜日午後）を年に3回実施 有志生徒も参加 来年度も継続予定

行事

- 4月 高1（3年コース）に利用案内ガイダンスを実施（聖書の授業1時間を利用）
高1（6年コース）～高3には「朝の読書の時間」で10分間ガイダンスを実施。
- 5月 第1回 図書館クイズ（参加32名）
- 6月 清教学園幼稚園との交流（子ども・保護者19名 幼稚園教職員3名）
- 7月 第2回 図書館クイズ（参加39名）
- 9月 文化祭 スタディホールでは中1～中3の生徒作品、過去の卒業研究優秀作品を展示

- 10月 第3回 図書館クイズ(参加 20名)
- 10月 清教幼稚園との交流 (子ども・保護者 11名 幼稚園教職員 4名)
- 12月 宗教部・リブラリア共催クリスマス会(生徒 20名 教職員 7名)
(川俣先生による説教、教職員によるコンサート、リース作り)
- 1月 第4回 図書館クイズ(参加 32名)
- 3月 清教幼稚園との交流 (子ども・保護者 41名 幼稚園教職員 4名)

清教学園幼稚園生による「リブラリア探険」

清教幼稚園の保護者にゆるやかに清教学園中学校への進学を意識してもらう機会になればと、清教学園幼稚園との協働イベントとして「リブラリア探険」を企画しました。2017年度の記録は以下の通りです。

		参加者数 (親子合計)	貸出 冊数	協力 生徒数	内容
第一回	7月15日(土)	19	31	2	英語プログラム・パイプオルガン見学・図書館のおはなし会
第二回	10月14日(土)	11	33	8	図書館のおはなし会
第三回	3月3日(土)	41	189	7	図書館のおはなし会
計		73	253	のべ17	

- ・英語プログラム (英語科クニタケ先生と ESS 部員の協力による)
- ・パイプオルガン見学 (音楽科山本先生の協力による)
- ・図書館のおはなし会 (読み聞かせ、パネルシアター、手あそびなど、有志生徒協力による)

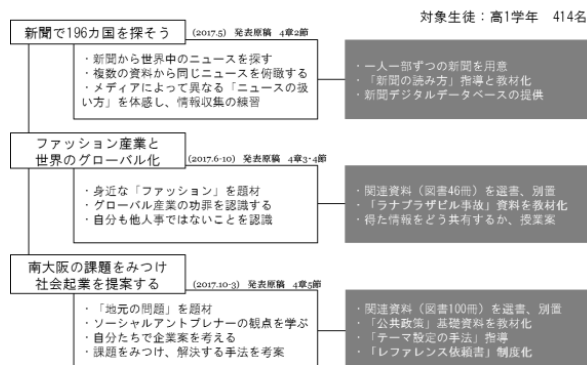
図書館から教科への授業支援

昨年度に引き続き「Global Studies(情報の科学 探究編)」に授業支援を行いました。今回の支援で目標としたのは、「授業設計に根付いた効果的な資料提供」です。授業担当教員から授業の目的や設計をヒアリングし、それを基に資料支援についても目的と方法を設定し、実施することを軸としています。授業設計と資料支援が密接に関わっているので、昨年度よりも更に効果的な授業支援に至りました。

今回の取組みの中で、新しい資料支援の手法も生まれました。図書資料の同時閲覧性問題をクリアする「資料を元にした授業プリントづくり」や、生徒の資料調査依頼のハードルを下げる「レファレンス依頼書」などが挙げられます。何れも「生徒と図書館資料の導線をどのように引くか」が焦点となっています。探究的な学びにおける諸課題の中でも、「参照資料の信頼性や収集の方法を、どのように指導するか」という課題に直結するテーマです。

なおこの取組みは、3月21日(水)に開催された「日

情報の科学(探究編) 年間スケジュールと図書館の授業支援



提供された資料を用いる高校50期生

本情報科教育学会 第10回研究会」にて、「課題解決型学習において学校図書館の情報環境をどのように活かすかー学習を活性化するための司書の関わりー」というテーマで山崎より報告されました。

「ちいさいおはなし会」開始

中学69期生(中1生)「朝の読書の時間」に司書教諭の南による「ちいさいおはなし会」を始めました。「ちいさいおはなし会」では、ろうそくをつけ、視覚的情報はなく、聴覚だけでみんなでおはなしをたのしみます(図書館の用語で「ストーリーテリング」といいます)。

視覚的刺激がないため、聞き手は語り手の声とことばを頼りに、おはなしの内容を頭の中で整理し、組み立てて行かなければいけません。それは、集中力を養い、想像力も育むのではないかと考えます。また、人類が脈々と語って伝えてきた昔話をたのしむことは、子どもたちの生きる力になり、日常的に使わないような語彙が増えることも期待できます。ろうそくの灯りのもと、友だちとおはなしを共有できるという、非日常的な空間での経験の共有も、生徒の育ちのために有益なことであると考えます。

定期テスト毎の実施を目標にしていたのですが、初年度の2017年度は6月、7月、12月、3月の4回実施となりました。

6月:「うまかたやまんば」(日本の昔話)

7月:「三びきの子ブタ」(イギリスとアイルランドの昔話)

12月:クリスマスのおはなし「星の銀貨」(グリムの昔話)と本の紹介

3月:「アディ・ニハスの英雄」(エチオピアの昔話)

次年度は中学69期、70期と学年を増やして続けていけたらと考えています。

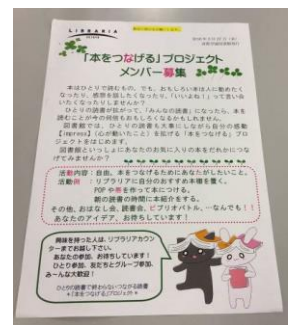
「本をつなげるプロジェクト」活動とその統計

《本の魅力を伝えたい生徒がいる》「みんなにもっと本を読んでほしい」「自分が読んで感動した本を共有したい」高校生が、中学生・同学年・先輩にとそれぞれが行きたいクラスを選んで、1冊から多い生徒で5冊の本を紹介してくれました。

《高1野球部員による大型絵本の読み聞かせ》先輩に引き続き今年度はできるだけ多くの教室を訪問したいと言って読み聞かせを開始しました。高3クラスは遠慮して先輩のいる2クラスに絞って行ったところ「楽しませてくれてありがとう」と言われて喜ばれました。また行けなかったクラスには、「うちのクラスにも来て欲しかった」と言われ、高3のクラスも行けば良かったと反省していました。

《様々な活動内容》なにをするか、いつどのように活動するかは本人次第です。今年度実施された活動は下記の通りです。

- ・朝の読書の時間に教室で本を紹介する
- ・本紹介のPOP作成
- ・自分がオススメする本を集めた「マイ本棚」づくり
- ・本探し/シルバニア探し
- ・自分がオススメする本でポスター作成
- ・幼稚園児に読み聞かせ



《「本をつなげるプロジェクト」活動統計》

「本をつなげるプロジェクト」登録メンバー

学年	中3	高1	高2	高3	合計
人数	5	15	10	7	37

訪問教室数

	5月	6月	7月/8月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
中学教室	1	19	13	1	12	6	5	1	58
高校教室	5	2	7	0	0	2	7	2	25
計	6	21	20	1	12	8	12	3	83

訪問者数(プロジェクト実施者)のべ人数

	5月	6月	7月/8月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
高校生	8	36	38	2	60	40	60	15	259

書架の配置換えで収納量を増加

本年度リブラリアの総蔵書数は61168冊となりました。慢性的な書架不足に対応するため2017年度は図書の除籍の他、次のような対策をとりました。①スタディーホールの周囲にあった全書類を、開架の書架上に移動しました。②開架の書架で開けていた最上段部分に図書を収めるようにしました。③開架の使用頻度の低い図書を空いたスタディーホールの書架に移動しました。これらの、対策によって、開架の書架は若干の余裕を持つようになりました。その一方で、書架の最上段を利用するようになったため、一部の生徒特に中学1年生にとっては図書が手に取りにくくなってしまいました。

スタディーホールの手すりの補修工事

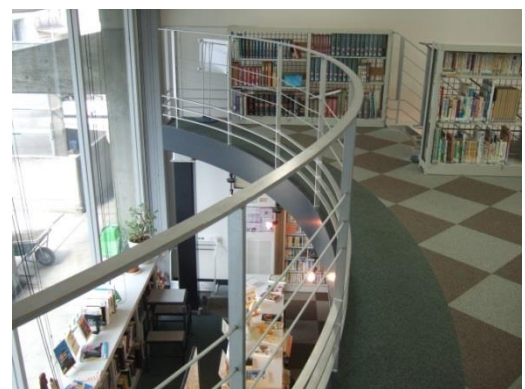
長年の懸案であったスタディーホールの手すり問題が解決しました。これまでの手すりには大きな開口部があったため、生徒が手すりに座り込むなど危険な場面が見受けられました。そのため学園祭などでは、テープを巻き付けるなどして安全策を取っていました。今回この開口部に金属製のワイヤーを取り付け安全な形にしました。

ICTメンターが生徒の学びをサポート

ICT活用委員会の発案で発足した生徒組織「ICTメンター」（有志参加の高校生6名）が、放課後のラーニングコモンズでも活躍してくれています。利用統計から分かる通り、放課後のラーニングコモンズでは、コンピュータを利用した学びが活性化しています。ここで生じる、貸出端末の手続きや、アプリ



全書類を開架の書架上に移動し、さらに開架最上段部分にも図書を収めるようにしました。



デザインに合わせたシルバーのワイヤーが設置されました。

ケーションの使い方のアドバイスなど、コンピュータ関連の様々な事柄について、ICTメンターの生徒がサポートしてくれました。



ロゴ作成: 高校 49 期 成瀬

訪問者（敬称略）計 229 名

日付	人数	どこから	氏名	訪問目的
4月12日	5	Australian Christian college-Moreton (中3オーストラリア研修現地校の教員と添乗員)		学校見学
4月22日	2	図書館流通センター		教育 IT ソリューションエキスポ 打ち合わせ
5月6日	5	大妻嵐山中高等学校		学校見学
5月20日	63	キリスト教学校教育同盟 関西地区協議会のみなさん		総会后 校内見学
6月2日	2	東通産業株式会社		学校見学
6月2日	1	箕面自由学園		学校見学
6月20日	2	鹿児島県啓明学院中高等学校		学校見学
6月28日	2	富士ゼロックス西日本		学校見学
6月28日	2	富田林市立葛城中学校		学校見学
7月4日	1	河合塾		図書館見学
7月7日	6	同志社中高等学校		総合の授業見学 図書館見学 ICT見学
7月12日	3	開星中高等学校		総合の授業見学 図書館見学
7月19日	3	Azaria 日本教育センター		学校見学
7月28日	2	セイコーソリューションズ		学校見学
8月2日	3	ネリーズ		リブラリア視察
8月9日	1	河合塾		探究学習調査
8月21日	1	同志社大学大学院		情報リテラシー教育調査
8月21日	3	堺市立平井中学校		学校見学
8月31日	1	JTB		中3フィールドワークのあいさつ
9月8日	1	Apple		まなBOX説明 情報交換
9月12日	1	大阪府総務部統計課		統計グラフコンクール 作品受取り
9月12日	1	京都ノートルダム女子大学		リブラリア視察
9月12日	1	龍谷大学		リブラリア視察
9月29日	1	大阪大学文学部1回生		進路相談(司書の仕事内容視察)
10月18日	1	大日本印刷株式会社		電子図書館打ち合わせ
10月18日	1	株式会社ネットアドバンス		電子図書館打ち合わせ
10月18日	3	図書館流通センター		電子図書館打ち合わせ
10月20日	2	図書館流通センター		打ち合わせ
10月20日	2	有限会社 読書工房		としょかん通信 取材
10月23日	1	同志社国際学院		リブラリア視察
10月31日	2	初芝立命館中学高校		リブラリア視察
11月1日	1	Classi 株式会社		学校見学
11月1日	1	ベネッセコーポレーション		学校見学
11月7日	2	吉祥女子中学・高等学校		学校見学
11月9日	34	シンガポールサイエンスアンド テクノロジー学校		国際交流
11月13日	3	大妻嵐山中学校高等学校		学校見学

11月21日	2	京都シオンの丘キリスト協会	学校見学
11月29日	7	インテル株式会社	総合学習・情報科授業見学
12月16日	2	大阪大学大学院	リブラリア視察
1月12日	1	毎日新聞社	リブラリア視察・情報科授業見学
1月22日	5	ソウル宗教教科教育研究会	国際交流
1月22日	17	フィリピン レトラン学院	国際交流
2月6日	1	アサプション国際中学高等学校	学校見学
2月8日	2	コアネット教育総合研究所	学校見学
2月9日	2	聖和学園高等学校	リブラリア視察・総合、情報科授業見学
2月13日	15	箕面自由学園中学校	学校見学
2月16日	4	鷗友学園女子中学高等学校	学校見学
2月21日	2	岡山県立青陵高等学校	リブラリア視察
3月22日	1	皇学館大学	リブラリア視察
3月22日	1	三重県立四日市高等学校	リブラリア視察
3月22日	1	三重県立四日市西高等学校	リブラリア視察

研修等への参加

・2017年6月15日 南百合絵「小澤俊夫昔ばなし大学（第一回）：開講の趣旨・語りの文法・昔話が語る子どもの成長」於：清教学園リブラリア（参加5名）。「和歌山2期昔ばなし大学」参加の南より報告。

・2017年5月26日 私学学校図書館研究会「アクティブラーニングの視点で活用する学校図書館」私学会館〔山崎〕

・2017年8月10・11日 大阪大学高等教育・入試研究開発センター「探究学習指導者セミナー 基礎編」大阪大学〔山崎〕

・2017年11月18日 大阪教育大学池田地区共同研究協議会「教科の学びと人・社会をつなぐ力」大阪教育大学附属高等学校池田校〔山崎〕

・2017年12月6日 同志社大学図書館「プロが教える！ 企業情報・政策・統計情報の集め方」同志社大学京田辺キャンパス〔山崎〕

・2017年12月17日 大阪大学高等教育・入試研究開発センター「探究学習指導者セミナー 応用編」大阪大学〔山崎〕

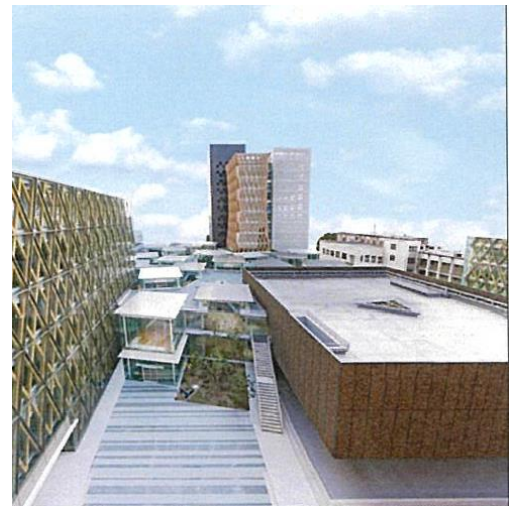
・2017年10月20日 図書館司書セミナー「本のこれからと書店」大阪市立図書館〔山根〕

・2017年11月20日 図書館司書セミナー「読書の持つ力」大阪市立図書館〔山根〕

・2017年12月8日 図書館司書セミナー「図書館の空間デザイン」大阪市立図書館〔山根〕

・2018年3月21日 日本情報科教育学会「日本情報科教育学会 第10回研究会」帝塚山大学〔山崎〕

・2018年3月28日 近畿大学中央図書館・アカデミックシアター見学。探究的な学習への支援とラーニングコモンズ・図書館運営法に関する取材（参加5名）



近畿大学アカデミックシアター
（内部に図書館を併設 近大パンフより）

雑誌・新聞記事・寄稿等（〔 〕内は執筆者）

・2017年4月「蔵書化・デジタル化した未来への贈り物：清教学園中・高等学校の実践から」『学校図書館』798号、pp.19-21〔片岡則夫〕

・2017年4月「朝の読書大賞受賞者報告」『高橋松之助記念「朝の読書大賞」「文字・活字文化推進大賞」10周年記念誌』

・2017年10月31日『子どもはハテナでぐんぐん育つ：図書館で調べ学習をやってみよう！』、岩崎書店、高校等の実践報告の掲載〔片岡則夫〕



岩崎書店から調べ学習の
実践報告が出版される

- ・2017年12月「『図書館には解決策がある』という感覚を育みたい『ぷらす・アルファ（中・高校生版）』（『としょかん通信』2017年12月号付録）第333号、全国学校図書館協議会
- ・2018年1月23日「デジタルで学ぼう『履歴』振り返り主体的に学ぶ：『デジタル学習記録』導入の大阪・清教学園『毎日新聞』東京朝刊
- ・2018年2月4日「図書館の新聞活用取組み例を報告 N I Eフォーラム」『東京新聞』
- ・2018年2月4日「『問いかける力』新聞で 東京でフォーラム」『日本海新聞』
- ・2018年2月7日「読む力育むN I E 東京でフォーラム」『岩手日報』
- ・2018年3月5日「学校図書館の活用事例報告『読む力で育む学び』」『神奈川新聞』
- ・2018年3月31日「探究心育つかない？ 調べる学習と『おためし読書』」『はらっば』大阪府立中央図書館 [片岡則夫]

外部講師・学会発表等(開催日・主催者「講座テーマ」会場 [担当])

- ・2017年5月19日 教育ITソリューション EDIX「図書館とICTを活用したアクティブラーニングのヒント：中高生への読書支援・探究的な学習」東京ビッグサイト [片岡則夫]
- 2017年5月25日 姫路市教育委員会「書と探究をささえる学校図書館：図書館入門から「おためし読書」・探究学習へ」姫路市総合教育センター [片岡則夫]
- ・2017年7月7日 平成29年度鳥取県司書教諭研修「探究的な学習を支える学校図書館 一豊かに学び、確かな力をつけるために一」中・高司書教諭80名 [片岡則夫]
- ・2017年8月24日 新潟市教育委員会「探究的な学習を活性化させる学校図書館の役割と支援：図書館入門から「おためし読書」・探究学習へ」新潟市立総合教育センター [片岡則夫]
- ・2017年10月3日 平成29年度愛知県高等学校司書教諭研修会「読書と学習をつなぐ学校図書館：探究学習の指導を通して」愛知県総合教育センター [片岡則夫]
- ・2018年3月21日 日本情報科教育学会第10回研究会「課題解決型学習において学校図書館の情報環境をどのように活かすかー学習を活性化するための司書の関わりー」帝塚山大学 [山崎勇氣]

印刷物

- ・2017年4月『総合図書館 清教リブラリア事業報告2016』200部
- ・2017年10月『リブラリア利用案内』1000部(3種・文化祭用)

リブラリアに関係した生徒作品の受賞等

[第20回図書館を使った調べる学習賞コンクール] 主催：公益財団法人 図書館振興財団

優良賞 最終審査対象作品 調べる学習部門 中学生の部

『給食の残食はどのようにすれば減らせるのかー栄養教諭と自校方式ー』 さん(3C)

奨励賞 3次審査通過作品 調べる学習部門 中学生の部

『あなたはアパレルの救世主になれるかー「着る」が「Ki11」に変わる瞬間ー』 さん(3D)

佳作 3次予備審査通過作品 調べる学習部門 中学生の部

『ウナギの完全養殖は可能なのか』 さん(3C)

『ドローンが空を駆け巡る日はくるのかードローンに期待される活用法と現状ー』 さん(3D)

- ・中学3年総合学習「卒業研究」では自由にテーマを設定し研究に挑戦しています。毎年出品してきた「図書館を使った調べる学習コンクール」も10年連続の入選となりました。生徒たちのユニークな研究が続々と完成する中で、残食問題に取り組んだ さんが入選しました。栄養教諭や小学校教諭へのフィールドワーク取材をもとに、給食指導の必要性を訴えた力作です。

[第59回大阪府統計グラフコンクール] 主催：大阪府総務部統計課

大阪府知事賞入選 (パソコン統計グラフの部)

第65回統計グラフ全国コンクールに出品

「ご存じですか？ 最近の台風」 さん(中2A)

大阪府知事賞佳作 (パソコン統計グラフの部)

「命の重さを考えて！ ペットブームの裏側で失われる命」 さん(中2C)

- ・ 中学2年総合学習の授業では、「統計で世界を考える」をテーマに統計分析の初歩を学びました。ここで扱った技術をもとに、大阪府が主催する統計グラフコンクールに応募。生徒それぞれが、ユニークなテーマや分析手法でポスターを作成しました。

VI 課題

① 高校生の利用率の低さ

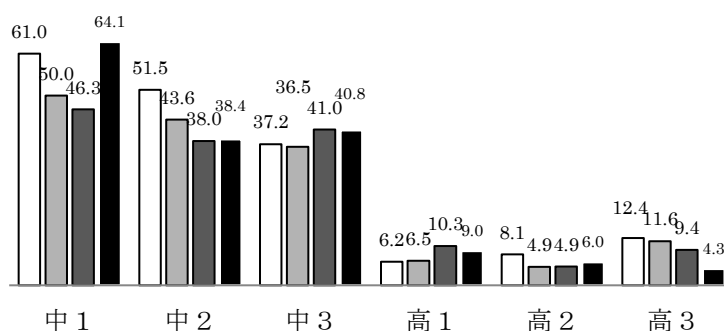
ひとりあたり年平均の貸出冊数が中高で依然開きがあります。中学生47.5冊に対し、高校生は約6.4冊で、約7.5倍の開きがあります。

今年度は特に高3生の落ち込みがありました。これは大学連携コースの探究科の終了が影響していると思われます。一方で中学生の貸出冊数は伸びており中学1年は最高値を示しています。

高校不振の根本的な理由は図書館の位置にあります。生活動線上に図書館がないため高校入学後縁遠くなってしまいます。特に高2年生にとっては昼休みの来館さえ難しいようです。長期的には、図書館自体の生徒動線上への移動を考慮すべきです。

一人当たりの貸出点数の変化(学年別)

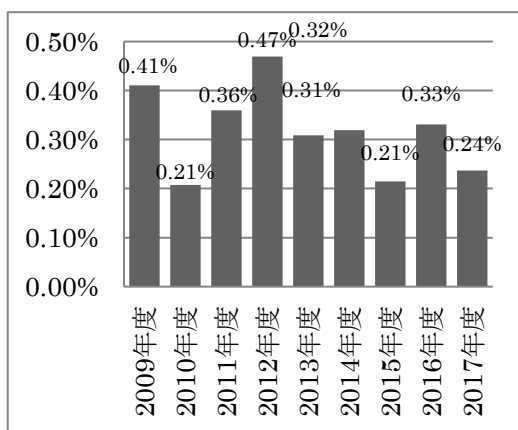
□2014年度 □2015年度 ■2016年度 ■2017年度



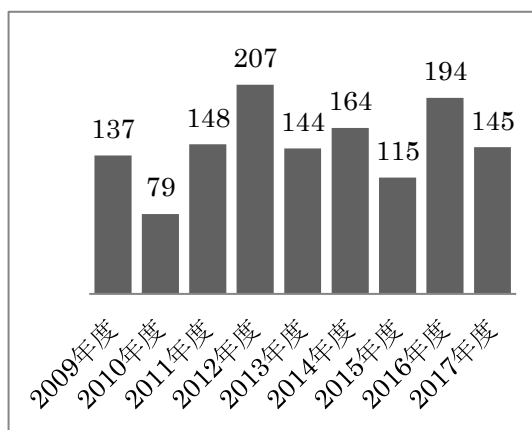
② 紛失図書問題

紛失図書の総数が、本年度は145冊（昨年度は194冊）と減少しました。図書紛失率も0.24%となりました。ただし図書紛失率は《紛失数÷蔵書数》ですから、蔵書数が増えると減少します。

統計を取り始めた2009年度からの紛失本の累計は1333冊です(平均単価1800円として被害総額約240万円)。こうした状況に鑑みICタグによる蔵書管理を検討する必要があります。すでに一部私学で導入されICタグ単価も10円以下になりました。蔵書点検の効率化を含め導入を考える時期に来ています



図書紛失率の推移 (冊)



紛失図書数推移 (冊)



総合図書館 清教学園リブラリア
2017 年度事業報告

発行日:2018 年 5 月 7 日
著者:清教学園中・高等学校 図書館教育
印刷・製本:清教キャンパス
連絡先:

〒586-8585 大阪府河内長野市末広町 623
TEL 0721-62-6828

本報告の内容は、すべて学校法人清教学園に属します。
無断での複写・複製・転載を禁じます。